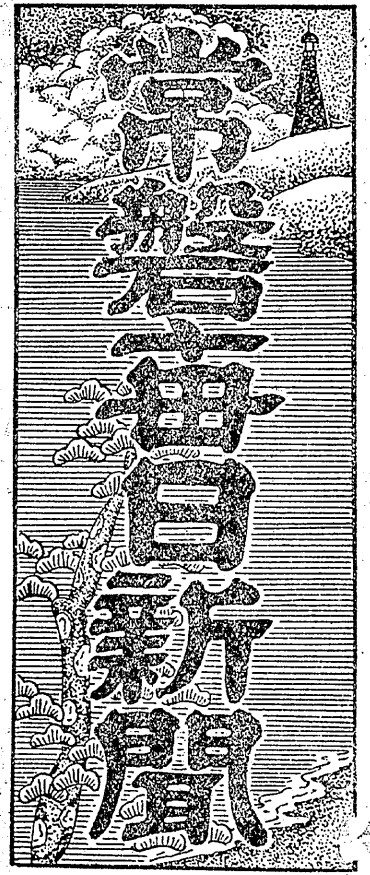


【刊夕】日八月一



原五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一 價定
錢十五行一 詰字三十號五 料告廣
治文 崎川一人 刷印人 輯編 録行發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番〇三六話電 社期新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

一九三〇年の

磐城文壇を顧りみて

片 寄 歌 二

【二】

同人誌の創刊は「さら、ぎ」と他一種位に止まり一昨年度の六十パーセントに對する何十分の一にも過ぎない。それ等とても、結局文學少女的なセンチメンタリズムに終始し詩藝術派作品として取扱ふには余りにマンネリズムで外面的に一步も出てゐなかつた。

高瀬勝男氏の「黄色」のものがやうに強い把握力がひた押しに押して来るものは感じられしたが、その強さが多少弱められてゐるやうな氣もした高瀬氏は少々衰退したではなからうか、もつと作品行動を旺盛にして、あの力強い怒の感情を撒き散らせ。

無産派詩壇を覗くと、所謂体験派としてボル系の波立一氏が目を惹き、アナ系の詩人は鳴りを静めた様だ波立氏の「橋」(巡邏船)は闘争の

忠慶、長瀬陸兵、猪狩澄江等の諸氏があつたが、プロレタリア意識の自然成長性を藝術的に取扱つて光つてゐながら、今年は無産派が燃焼が足りなかつた様だ。その他昨年

熱情で 動いてゐた。そつのない技巧は、もつと注目されるべきである。然しこの作者は闘争に或る熱情は持つてゐるが、然しそれはこの階級闘争に何を要求してゐるか、それが強く表はれてゐない。それ故、一種の弱さが、この作品を通して感じられるのは遺憾であつて、氏としてもこの點に特に注意をしてもいいと

印象に 残つた人達に 双葉清、白江甫太郎、赤城春芳、江藤三郎、佐藤清長等の諸氏、女性で新しく注目された人達に小堀さき、江丘八重子、入江幸子等の諸氏がゐた。その他詩壇の出来事としては松本純一氏の死去と、

その百日忌に、三野混沌、草野心平、中野英雄の諸氏他数名が集つたに過ぎない次に

歌壇に うつるが四五年前の歌壇と現在を比較すると異状な發展の行程をもたらしした。過日の短歌會を見てもその現象が切實に感じられる。

昨年度二回の短歌會が多くの歌人を生産したが、然し、特に組織立つた、たとへば「心の花」とか「創作」とか「アラ、ギ」とか、さう云ふ

系統的 研究のもとに歌を作つてゐる人は極少人数の様であつた。「心の花」派の歌人として高久晚霞氏が老巧でフレッツシユ味のある歌を比較的多産してゐる。同系統の人では永山徳一氏がゐる。「アラ、ギ」派の歌人として自認してゐる人に島田忠夫氏がゐる。比較的、歌を出してゐるが、同氏の態度がやいもすれば自己を死滅へて導いてゐる、惜しむべしだ。

お正月の氣分は 先づ當店々頭から 福袋 一ヶ 五十錢 中には何が入つて 居るでせう

目丁四平 ヤトモツマ 番四一二話電

外科

門 專 X 科 線 光

上田外科醫院

平町南町 電話一三九番

目下大流行の

ベビーカメラ

一金六拾錢也

附屬品付

森下商店

レコード破りの石炭大廉賣

磐城炭礦 正味十貫匁 一俵金卅錢也 二等炭 品が良く「値は安く」をモットーとする當店は此度破格の格安石炭を販賣開始致します 値が安くとも品は悪くはありません 磐城炭礦の處分的大掘物です、品物の無くならない中に御注文下さい 配達は一俵より致します

御注文は

電話二三七番へ

阿部石炭商店



六三四電通場車停目丁四町平

正根本眼鏡 町田平店計時本根 番七〇六話電

節約ハ足下カラ 五圓均一革靴(修繕) 赤短靴編上靴デモ 國民舉ツテ 緊縮ノ秋 五圓均一革靴(修繕) ノーブル型 耐久保證券付革靴 フランス型 三ヶ月破損新品交換 十ヶ月同(修繕無料)

内ルピモトルマ四平 約特靴だよち 店靴地菊

時價の八掛けで 生産米に貸付け

日歩は二錢二厘 小川村信用組合の試み

石城郡小川村信用組合では同所吉田榮男草野長壽兩氏の倉庫を借入れ組合員生産米に對し時價の八掛けを標準に日歩二錢二厘で貸付けることになった

同潤會の 生業資金貸付

目下の處二名
他の十餘名は調査中
平町同潤會が新らしき試みとして去る廿六日から町内居住失業貧困者中生業の見込みあるものの資金借入希望

町村長總會 終つて懇親會

石城町村長支會は十四日平町各種團體事務所にて總會を開き六年度町村豫算編成に關し協議し午後三時から谷口樓に懇親會を開くと

僅か一ヶ月間に 昨年中の検査數突破

手數料を全廢して 急に激増した等級検査

穀物検査所平支所では産米の出廻り最盛期となつたので元旦以來一日も休まず検査に忙殺されてゐるが規則の改正で等級検査は手數料が廢止されたところから現金地主さんの受檢希望多く去る十二月中の検査數は

平二、八三二俵▲四倉六、八八一俵▲勿來六、一五四俵、計一五八六七俵で内二等十四俵三等二百四俵四等四千八百八十五俵五等七千九百四十六俵等外三千五百十八俵

石城の酒造

舊臘迄二百六石

石城郡下における酒造は十二月までの酒造石數は二百六十石で前年よりは事業不振氣候の關係から幾分遅れてゐるも今月中には豫定石數に達する見込みであると

鮫川議員補欠 石城 鮫川堰普通水利組合にては

組合議員齋清吉氏の死亡に
なる補欠選挙を十七日植田町で執行

平町人事

△出 生
△研町 最上嘉右衛門氏四男三郎
△仲町三 岡田弘成氏二女園枝
△死 亡
△鎌田町二九 三澤秀雄(四ツ)
△一丁目二〇 野上久藏(五四)

看護婦急派 の求めに應 じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

柳田を捕縛する迄

色魔 の師斯詐大

▼本名 青木由五郎(前科三犯)
▼原籍 神奈川縣浦賀町
▼平地方にての偽名 柳田辰五郎
▼房總地方にての偽名 森本友三

根本 毅

(岡野巡查の話は續く)
「然し話を聞くに頗る大きく、なんでもこの九月頃にも三千圓ばかり入る金があるんだと云ふ振れ込みで此の地方の人をスツカリ丸め込み、米代も百數十圓借りが出来其他數ヶ所に十圓だ廿圓だの借金をこしらへ。中にこの地の山口屋と云ふ旅館料理の一女中の如き。なにか都合によつては女房にしてもよい位の事を云つたのでも有りませうが、毎日々々貯金は下げる借金はするして大將の食料を運び上旬の果てが二百圓の金までこしらへさせられ。遂に今以てその三千圓が入らなないので。その女も此の地にも居られず。とうとう館山町へ三百圓の前借で茶屋女として身を賣つたと云ふ始末で。先生此の地の信用はスツカリ落してしまつた有

りは歸るのかと心待ちして居りますが、と申して居りますからこりやヒョトすると和田浦町に居るかも知りませぬ。此所から八里半私等の方の事情を申しますと和田浦町は管轄違ひ先きは千倉警察の管轄ですが、よろしい何にしろ彼奴此所に住居を持つて居る事でもありませんから私と御一しよに行つて。和田浦町の駐在所の應援を得て一つやつつけませう」と
早速官服を脱ぎ更へ。土木請負業の現場監督員の如き服装となり。
「如何うしませう汽車まで未だ三時間近く時間がありませんから。自動車で次の驛へ行き小湊の町を調べ。それから丁度宜いやうですが。如何です?」
「いや結構です。吾々とても遠路折角出て来たことでも調べたいのです。一つさう云ふことに願ひませう」
と早速自動車を呼び。吾等三人と警官都合四人。日蓮大聖の誕生地小湊に着き先づ有名な誕生地に参詣し。鯛の浦の名所は此の際見物に來たのではないからと後に譲り。種々取り調べたが更に手掛りはなし。愈々四時十一分和田浦町指して汽車に乗り込んだ。窓より望めば太陽は己に小湊灣の西に没せんとし。數條の金箭を天上に向つて放射し。その雄大さ。その静寂さ。然日蓮大聖の臨終に座す

るの感あり。オットこんな詩想はこの際湧きはしなかつた。
四十分。日は既に没して。たそかゝそかの夕まぐれ。丁度向ふ側にも勝浦廻り兩國への汽車が着いて居つた

女寶圓

元祖家傳の子宮
坐薬として名聲噴々たり

子宮病が根治する

元祖家傳の子宮
坐薬として名聲噴々たり

白帯下、赤帯下、陰門惡臭の人
子宮冷へ込み腰足の冷へる人
月經不順、下腹痛み引当る人
こしけの、下る方
子宮出血、子宮癌腫の人
逆上、頭痛、ヒステリーの人
淋毒性子宮病、不妊症の人

歴史に古く學理に新しい著しき効果

子供の出来る名薬



特約代理店 市原商店 平一丁目電話二四四番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません

川井内科診療所

平町南町六五(元大和田耳鼻院跡)
電話一八一番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

一本の藁以上に 有難がられる

金儲け虎の巻

一にも金一にも金
羽が生いて賣れる

エロもグロも何にも彼にも
結局はあれなくばといふ、
不景氣のドン底にあえぐ
國民の望んでゐるも
のは先づ金だ、こうした時
流に着目してか最近メッキ
リ殖えたのが不景氣打開、
金儲け虎の巻出版物昨秋來
新に平町各書店の店頭にお
目見えしてゐるものだけで
もザット三十種、これが又

平役場の執務時間

一日に一時間延長

事務の能率を増進して

町民の便宜を圖る

平町では新年の劈頭六日伏見町長から吏員一同に對し
事務能率を増進し町民の便宜をはかるため執務時間を
一日一時間延長することを申し渡し午前八時半から午
後四時半まで執務することとなつた

遠藤助役の

全快近し

明日自宅へ

年賀回禮先の佐藤第二小學
校長宅にて軽い腦溢血に冒
され治療中であつた平町役
場の遠藤助役は其後快方に
向へ本日は体温三十六度四
分にて血壓も低下し殆んど
全治に近いので明日は自宅
に歸る豫定であると因に伏
見町長は語る「風邪に罹つ

就職の成績

平紹介所の

平職業紹介所の調査に依る
十二月中の成績は左の如し
男 女 計
求人 一三六八一四四

求職 一三一三三四四
紹介 一三五四一三九
就職 一二七四一三一
尙ほ斯くの如く大部分の就
職したのは目下進行中の水
道擴張工事に使役してゐる
關係である

操業を開始

四倉セメント

磐城郡四ツ倉町磐城セメント
同町工場では生産調節のた
め舊臘二十七日から全工場
三百七十名の臨時休業中の

迷信打破

養鶏をやると 葬儀が多くなる

組合長が率先飼育し
今では驚くべき發達

石城郡下の養鶏事業の盛ん
なところの一つの面白い迷
信打破の話がある、そこ
は郡下の下小川村と山田村
の兩村で
二年前 までは全村
食鶏をやるも葬儀が多くな
るだの奇病患者が發生する
だのと色々な迷信が流行さ
れてゐた困つたことだと郡
農會では極力これが打破に
努めたものであるが仲々き
めがない、ところへ昨年
赴任して來た橋本技手が開
きつけ村農會當局と色々交
渉して悪い迷信は

何時も壽司詰の

準急行列車を

土曜と日曜には増車する

目下手配中

常磐線の準急行列車は時間
と金とが經濟である處から
他列車の乗客減少に比して
この列車のみは毎日満員殊
に二等車は全く満員の度を
越して乗車し切れぬ有様か
ら頻々と苦情があるので水
戸運輸事務所ではこの時代
に適合せる準急行列車の乗

捕鯨八十頭

昨年中に於て

石城郡小名濱町東洋捕鯨株



今晩は北西の風
曇り雪模様明日
は北西の風晴れ

象通報、告知事項
後七、〇〇 氣象通報
後九、〇〇 全國ニュース
後四、〇〇 五五落語「芝濱」桂
文治 後〇、四〇 ニュース、氣
處七日から操業開始した

取灰不始末

磐崎村の火事

石城郡磐崎村、篠崎丑之助
(五)方から七日午前十時頃
發火住家一棟を全焼原因は
取灰の不始末損害八百圓

後七、〇〇 ニュース、官
廳ニュースを含む) ニュ
ース、告知事項、番組豫
告、告知事項
後七、二五 講演
後八、〇〇 義太夫「壽連
理の松」お夏清十郎港町
の段、淨瑠璃竹本朝太夫
三味線豊澤松太郎
後八、四〇 歌澤 一、曙
二、朝日(唄)歌澤相模
(三味線)歌澤寅右工門
後九、〇〇 連続講談「笹
野権三郎」第二席大島伯
鶴
後九、四〇 時報、全國ニ
ュース、氣象通報、番組
豫告、告知事項

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

關内藥局

電話四〇番

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器

毛糸...と編物用具は

ハシモトヤ
優等百合印毛糸 高級縮降毛糸
優等中細毛糸 優等極細毛糸
スコッチ毛糸 英國製毛糸
平町田町 ハシモトヤ糸店

三井の券品商
店服吳井三

